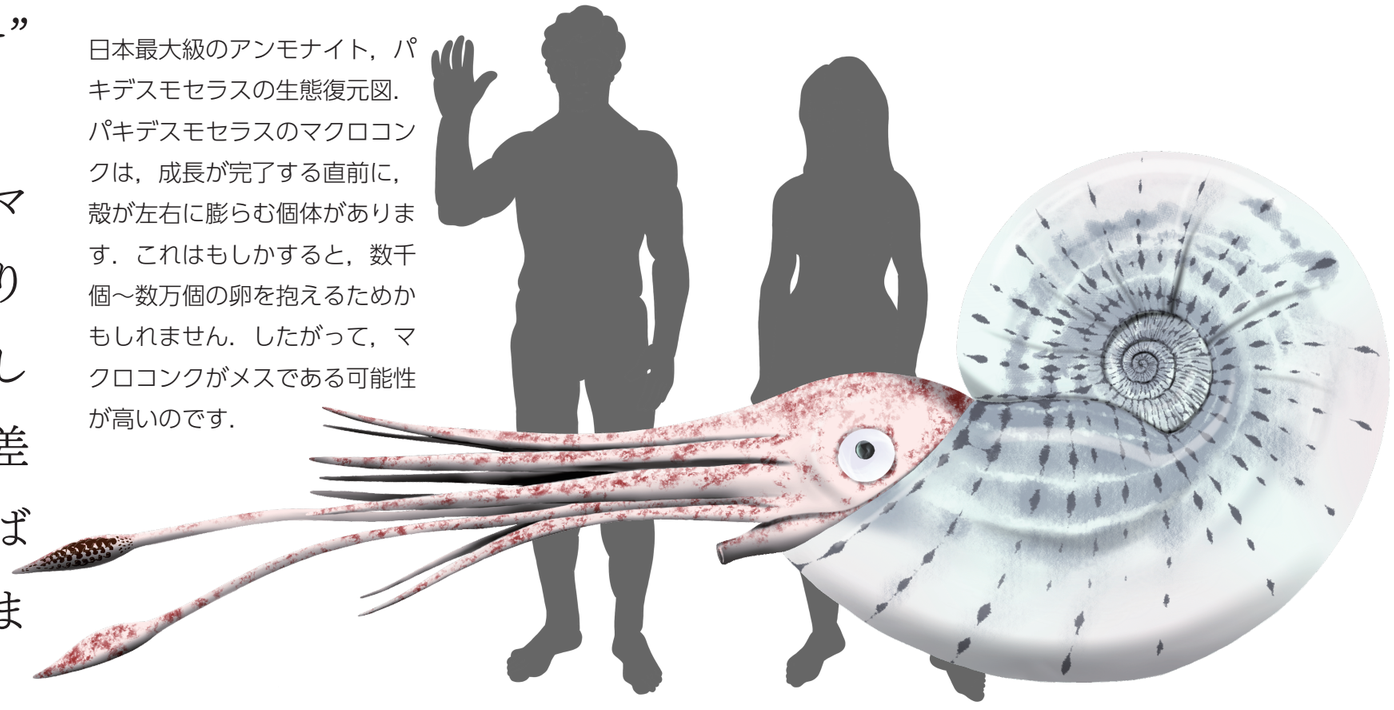
# 日本最大の格差夫婦
# プゾシア類

小さなミクロコンク（おそらくオス）と大きなマクロコンク（おそらくメス）という組み合わせは，様々な種類のアンモナイトでみられます．おそらく，すべてのアンモナイトのオスが，メスよりも小さい，というわけではなく，生活様式や生息環境によって，オス・メスの体格差がある種類と，ない種類がいたのでしょう．

そんなオス・メスで体格差のある種類のアンモナイトの中でも，特にオスとメスの大きさの差が著しいのが，「プゾシア類」だと思われます．当館の常設展で展示している「日本最大級のアンモナイト（直径約 1.3 m）」も，ドイツで発見された「世界最大のアンモナイト（直径約 2.5 m）」も，このプゾシア類に分類される種類のアンモナイトです．そして，このプゾシア類には，顕著なミクロコンクとマクロコンクがあると考えられていることから，こうした“レコードホルダー”はいずれもメスの可能性があります．

北海道から見つかるプゾシア類の場合，マクロコンクは直径 1 m に達することもありますが，ミクロコンクは 30〜40 cm 程度しかないようです．すなわち，オスとメスの差は，直径なら 2.5 倍，体重を単純計算すれば 16 倍近くにもなった可能性があります．まさに日本最大の格差夫婦と言えるでしょう．



日本最大級のアンモナイト，パキデスモセラスの生態復元図．パキデスモセラスのマクロコンクは，成長が完了する直前に，殻が左右に膨らむ個体があります．これはもしかすると，数千個〜数万個の卵を抱えるためかもしれません．したがって，マクロコンクがメスである可能性が高いのです．